

附中通信

～気づきが拓く学校づくり～

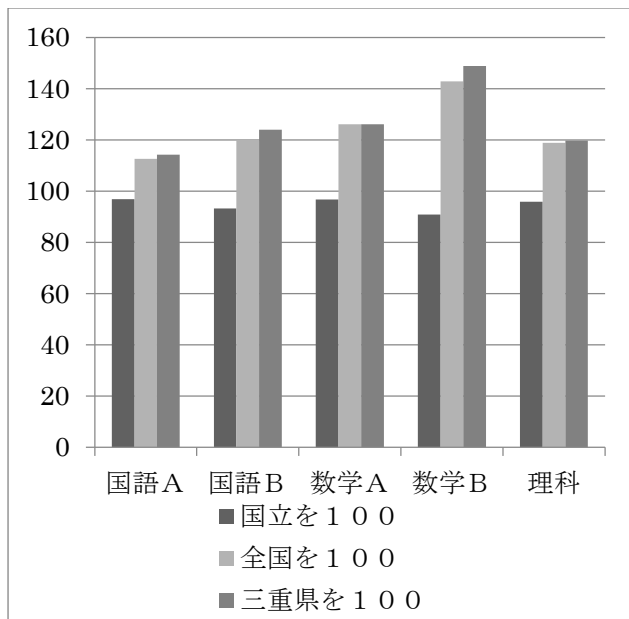
三重大学教育学部
附属中学校

No.7

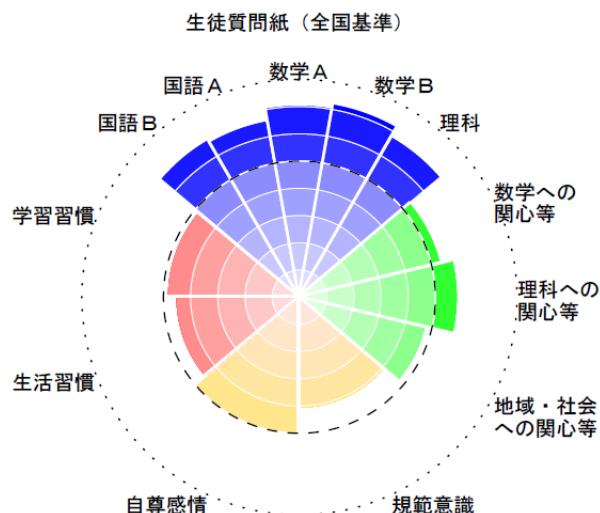
平成30年9月10日

～平成30年度 全国学力・学習状況調査より～

◆教科に関する調査



◆学習状況に関する調査(生徒質問紙 全国基準)



※全国(中央の点線の円)を比較基準とした平均値及び標準偏差を基に作られています。

※上の棒グラフは、次の計算で正答率を処理して比較しています。

(1) 三重県公立 = 本校正答率(%) ÷ 三重県全学校平均正答率(%) × 100

(2) 全国 = 本校正答率(%) ÷ 全国の全学校平均正答率(%) × 100

(3) 国立学校 = 本校正答率(%) ÷ 全国の国立学校平均正答率(%) × 100

したがって、各(1)～(3)を100としたときの本校の正答率が、グラフに示されています。

◆教科に関する調査(概要)

- ・学力調査結果は、国語数学とも全国平均、三重県平均に比べかなり良好な結果が得られている。
- ・全国の国立学校(附属学校)を元に計算した値は、全ての教科において100を僅かに下回っている。

◆学習状況に関する調査(概要)

- ・教科への関心が際だって高いとは言えない。
- ・規範意識に対する回答からは課題が見られる。
- ・学習習慣は身に付いてきているが、基本的な生活習慣には課題がある。

【国立と比べて】

- ・活用する力に課題が見られる。

【全国と比べて】

- ・数学はとてもよい状況にあり、国語、理科はよい状況にある。
- ・言語活動・読解力においても力を発揮している。

調査全般から、粘り強く考え対話を大切にしながら学ぼうとしたり、向上心を持って毎日を送ろうとしたりしている3年生のがんばる姿を窺うことができる。しかし、判断の根拠や理由を的確に示しながら自分の考えを述べることや、相手の反応をふまえながら事実や事柄をわかりやすく伝えることなどにまだまだ課題が見られる。また、自己肯定感や主体的に学習に取り組む態度、社会参画の意識等については、国際的に見ると総体的に低い。これらのことから、一人ひとりが、自らの力を育み、自ら能力を引き出し、主体的に判断し行動するまでには必ずしも十分に達しているとは言えない状況にある。

◆学習状況について(本校に見られる顕著な具体的状況)

